

東亜学院日本語コーナー

馬場先生

「日本は、本日の言葉についてお話ししましょう。」あっ！間違いました。本日は日本の言葉についてお話しします。

「本日」と「日本」、順序が変わっただけで意味が全然違いますね。勿論意味が似ているものもあります。でも使い方が違っていたりします。そんな言葉を集めてみました。

まずは似ているけれどちょっと違う言葉です。

『主人と離別した。(ああ、すっきり！)』『恋人との別離。(ああ、悲しい)』
恋人同士なら「愛情」、親子・師弟間なら「情愛・愛情」を使います。愛情表現とか愛情問題などという表現はありますが、情愛〇〇はありません。

「和平」と「平和」も似てますね。『A国とB国(紛争中)の和平を望む。』『世界の平和を願う』と言います。『最初政府が軍隊を圧制したが、今回は軍隊に制圧されるだろう。』圧制と制圧では、「制圧」のほうが怖い感じですね。

「では、次の階段に行きましょう。」あっ、また間違えました。「次の段階に行きましょう」私はそろそろ、「階段」の昇り降りに気をつけなければならない年齢です。次の「段階」では、順序が反転すると全く意味が違ってしまふ言葉を集めます。

みなさん、「事情」があつて、学校を休むのは仕方ありませんが、「情事」のために休んではいけません。

『客の応対をする』のように「応対」は人と会って受け答えをすることです。『非常時に対応できる体制作りが必要だ』のように「対応」は何かをすることです。

「社会」のなかに「会社」があります。「乳牛」は動物。「牛乳」はミルク。
現在、「中国」では「国中」が上海万博ムードに包まれています。

その他、「理論と論理」「争論と論争」「議論と論議」「質実と実質」など色々な言葉があります。辞書を引いて、意味を確認してくださいね。使い方も間違ふとちょっと変な日本語になりますよ。「便利さ」と「利便性」は大体同じ意味ですが、「これは利便だ」とか「便利を図る」とかは言いません。(「これは便利だ」「利便を図る」が正解)ちなみに利便性という日本語もありません。言葉はちょっと厄介ですが、毎日日記をつけるのもよし、作文を書くのもよし、どんどん書いて、先生にチェックしてもらいましょう。